

世界の切手に見る消防関係の切手(4)

平岩道夫(切手評論家)



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

ともかく“火事”をなくしたい——というのは、世界各国政府の悲願。そのため、もっとも国民を対象にしたPR効果があがる、といわれている“切手”を通じて“消防活動”を周知するケースが少なくない。

そこで今回は、そういった図案の切手を、紹介してみよう。

(写真①)は、ドミニカから発行された切手で、図案は「火事です！」の連絡を受け、急いで現場に向かう“消防自動車”を描いたもの。

(写真②)は、同じくドミニカ発行の切手。図案は道路の片隅でよく見られるズバリ“消火栓”を描いている。

(写真③)は、これまたドミニカ発行の切手で、オノ、ハシゴ、帽子など、昔から消火活動に欠かせない“三種の神器”を描

いたユニークな図案。

(写真④)は、猛火の中からぐったりした少女を助け出した“勇敢な消防士”を描いた切手。グアテマラから発行されたもの。

(写真⑤)は、“人命救助”といえば、ここに紹介したルーマニア発行の切手もその1枚。ビル火災で消火活動が続けている消防士、それに少女を助け出し、ホッとした表情の消防士などが描かれている。心なしか少女の表情にも笑顔が……。

(写真⑥)は、同じ“人命救助”でも、この切手は“赤十字”のマークが右上に描かれている通り、看護婦がおばあさんにやさしく手をかけた心あたたまる図案の切手。切手図案の下にある“POLSKA”(ポルスカ)とは、“ポーランド”のこと。つまりポーランド発行の切手というわけである。